



# 平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	15,871	6.6	733	22.1	844	25.0	516	19.7
29年6月期第2四半期	14,892	3.8	600	14.3	675	27.3	431	26.5

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 702百万円 (0.1%) 29年6月期第2四半期 702百万円 (158.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	128.42	
29年6月期第2四半期	107.25	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	22,942	10,737	44.9
29年6月期	20,963	10,279	46.9

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 10,301百万円 29年6月期 9,832百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		45.00	45.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.4	1,400	1.2	1,470	1.4	800	24.9	198.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	4,369,200 株	29年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	30年6月期2Q	344,740 株	29年6月期	344,632 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	4,024,485 株	29年6月期2Q	4,024,649 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外主要国経済が軒並み好調であることに加え、国内経済も好況であることから企業業績の改善が続いており、これらが設備投資をさらに押し上げるという好循環の中で推移しました。

当社グループとしましては、当社グループの海外ネットワークを活かして海外ビジネスを拡大させているのに加え、国内においてもIoTやAIによって牽引される第4次産業革命といわれる新規イノベーションが新規設備投資を誘発し、IT技術とFA技術の融合領域が守備範囲である当社グループにとっては大きなビジネスチャンスが増大してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は158億71百万円（前年同四半期比6.6%の増）となり、損益面としましては、営業利益が7億33百万円（同22.1%の増）、経常利益が8億44百万円（同25.0%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が5億16百万円（同19.7%の増）となり、第2四半期連結累計期間において売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てが過去最高値となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

#### <インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、太陽光発電施設にかかる大型案件の売上があったことや製造業の製造能力向上を目的とした各種試験機や効率化、自動化等を目指したシステムビジネスが好調だったため、大幅な増収・増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は55億87百万円（前年同四半期比20.6%の増）、営業利益は3億27百万円（同82.0%の増）となりました。

#### <IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等の代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく、安定的な分野であります。当第2四半期連結累計期間はコンポーネント機器やメカトロビジネスは順調に推移しましたが、計測ビジネスが一時的に落ち込んだため、前年同期に比べ売上高、利益ともに微増に終わりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は102億62百万円（前年同期比0.4%の増）、営業利益は5億86百万円（同2.4%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計額は229億42百万円で、前連結会計年度末に比べ19億78百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が12億58百万円、仕掛品が7億14百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が122億4百万円で、前連結会計年度末に比べ15億20百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が11億57百万円、流動負債のその他に含まれる前受金が4億49百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が107億37百万円で、前連結会計年度末に比べて4億58百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が3億35百万円増加したことと株価上昇によりその他有価証券評価差額金が1億33百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の足元の状況は、物価安定下での緩やかな消費拡大が続いている一方企業業績はさらに一段と改善し適温相場と呼ばれるまでになっており、設備投資の活性化、輸出の好調等に牽引された企業業績はリーマンショック以降で最も高い水準まで引上げられています。

当社を取り巻く環境は、IoTやAI等の技術革新によるイノベーションにより新規投資需要が次々と生まれており、さらに少子高齢化等による労働力人口の減少に経済の活況が拍車をかけた深刻な人手不足の状況は、生産設備の自動化、効率化、省力化システムの構築を最も得意とする弊社にとって強い追い風であり、この状況は今期末に向かっても続くものと予想しております。

以上により、平成30年6月期の通期予想につきましては、平成29年8月9日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,628,364	1,210,442
受取手形及び売掛金	8,580,615	9,866,807
電子記録債権	2,156,096	2,128,122
有価証券	113,205	114,675
商品及び製品	351,722	445,028
仕掛品	361,614	1,075,764
原材料	447,512	544,246
その他	183,529	269,018
貸倒引当金	△45,309	△49,624
流動資産合計	13,777,351	15,604,480
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,016,971	4,016,971
その他(純額)	1,122,655	1,105,062
有形固定資産合計	5,139,626	5,122,033
無形固定資産		
	93,795	79,360
投資その他の資産		
投資有価証券	1,510,957	1,726,441
その他	552,688	521,763
貸倒引当金	△110,858	△111,599
投資その他の資産合計	1,952,787	2,136,605
固定資産合計	7,186,209	7,338,000
資産合計	20,963,561	22,942,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,289,654	7,366,178
電子記録債務	974,858	1,055,502
1年内返済予定の長期借入金	-	800,000
未払法人税等	311,576	361,290
賞与引当金	148,026	111,491
役員賞与引当金	39,485	-
その他	624,557	1,009,266
流動負債合計	8,388,158	10,703,730
固定負債		
長期借入金	1,700,000	900,000
退職給付に係る負債	221,474	189,353
その他	374,732	411,682
固定負債合計	2,296,206	1,501,036
負債合計	10,684,364	12,204,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,861,587	1,861,587
利益剰余金	6,680,883	7,016,614
自己株式	△423,993	△424,242
株主資本合計	9,559,917	9,895,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272,994	406,115
その他の包括利益累計額合計	272,994	406,115
非支配株主持分	446,285	436,200
純資産合計	10,279,197	10,737,714
負債純資産合計	20,963,561	22,942,480

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,892,700	15,871,006
売上原価	12,441,075	13,231,467
売上総利益	2,451,625	2,639,538
販売費及び一般管理費	1,850,829	1,905,940
営業利益	600,795	733,597
営業外収益		
受取利息	2,926	2,968
受取配当金	11,435	10,199
仕入割引	18,758	19,183
為替差益	36,731	6,624
補助金収入	-	68,071
雑収入	14,125	10,138
営業外収益合計	83,978	117,187
営業外費用		
支払利息	5,743	3,582
手形売却損	259	341
売上割引	1,623	1,758
雑損失	1,328	118
営業外費用合計	8,954	5,801
経常利益	675,819	844,983
特別利益		
固定資産売却益	19	220
投資有価証券売却益	50,208	53,852
特別利益合計	50,228	54,072
特別損失		
固定資産除却損	20,841	50
固定資産売却損	12	-
投資有価証券売却損	7,153	-
事務所移転費用	627	7,259
特別損失合計	28,634	7,309
税金等調整前四半期純利益	697,413	891,746
法人税等	228,002	334,861
四半期純利益	469,410	556,884
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,751	40,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	431,658	516,837



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	469,410	556,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	233,583	145,286
その他の包括利益合計	233,583	145,286
四半期包括利益	702,994	702,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651,662	649,958
非支配株主に係る四半期包括利益	51,331	52,212

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	697,413	891,746
減価償却費	84,934	84,573
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,423	5,337
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△22,700	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,952	△28,799
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,945	△39,485
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△230	679
受取利息及び受取配当金	△14,362	△13,168
支払利息	5,743	3,582
為替差損益(△は益)	△32,635	△5,854
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△220
有形固定資産除却損	20,841	50
投資有価証券売却損益(△は益)	△43,055	△53,852
売上債権の増減額(△は増加)	△1,638,336	△1,306,370
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,820	△904,189
仕入債務の増減額(△は減少)	78,631	1,162,055
その他	346,289	293,025
小計	△674,615	89,110
利息及び配当金の受取額	13,148	14,149
利息の支払額	△5,743	△3,582
法人税等の支払額	△330,323	△271,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	△997,533	△171,997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△48,316	△46,710
有形固定資産の売却による収入	47	264
無形固定資産の取得による支出	△20,779	△6,453
定期預金の預入による支出	△9,001	△1,500
定期預金の払戻による収入	12,000	-
投資有価証券の取得による支出	△91,454	△138,325
投資有価証券の売却による収入	342,777	163,214
貸付けによる支出	△9,000	△24,000
貸付金の回収による収入	14,000	41,585
その他	△4,730	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	185,544	△11,915

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	-
長期未払金の返済による支出	△6,219	△6,219
自己株式の取得による支出	△107	△249
自己株式の売却による収入	5,677	-
配当金の支払額	△160,419	△180,758
非支配株主への配当金の支払額	△4,720	△7,780
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△750	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	233,462	△195,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,600	1,258
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△556,927	△377,662
現金及び現金同等物の期首残高	1,750,768	1,732,068
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△29,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,193,841	1,325,117

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,634,779	10,218,083	14,852,862	39,837	14,892,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	277,265	195,749	473,015	35,282	508,297
計	4,912,044	10,413,833	15,325,878	75,120	15,400,998
セグメント利益	179,919	572,211	752,131	59,911	812,042

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	752,131
「その他」の区分の利益	59,911
全社費用(注)	△211,246
四半期連結損益計算書の営業利益	600,795

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,587,469	10,262,651	15,850,120	20,885	15,871,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	131,993	233,668	365,662	34,762	400,424
計	5,719,462	10,496,319	16,215,782	55,648	16,271,430
セグメント利益	327,526	586,145	913,671	45,828	959,500

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	913,671
「その他」の区分の利益	45,828
全社費用(注)	△225,902
四半期連結損益計算書の営業利益	733,597

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。